

埼玉県理容美容専門学校
学校関係者評価委員会

【日 時】 2023年6月5日

【会 場】 埼玉県理容美容専門学校・浦和校舎 2階学生ホール

【委 員】 評価委員 4名

委員長	校 長	増村 信雄
	学校本部長	島田 美紀
	教務課長	千住 義祐
	学校参与	浦野 智子

1. 開会の辞（校長 増村信雄）2023年度 自己点検評価委員会を開催することを宣言
2. 校長挨拶（校長 増村信雄）

2022年は「新型コロナウイルス感染症」の蔓延が3年目となり、状況は緩和しているものの学生の進級と卒業が引き続き最優先課題となった。また新校舎での1年間を通じ、新しい教育環境での成果及び問題点などに着目して、活発な意見交換を求める。

3. 審議事項

（1）教育理念・目標

校長 / ① 本校の教育理念を達成するべく、2022年4月より浦和新校舎で「高度な実践教育」にふさわしい施設設備を整えた。業界団体及び企業連携も「新型コロナウイルス感染症」の脅威が減じたことから活発に実施できた。よって「5」の評価としたい。

千住 / ② ③職業教育の充実のため引き続き「毛髪科学」をオムニバス形式の授業とし多様な演習を実施した。またサロンワークでは接客に必要な一般教養科目の講義をはじめ、有名サロンの理美容師による実践授業を取り入れた。職業教育として②は「5」が妥当と考える。また、③についても「5」の評価で良いと考える。

④ 総合型選抜のアドミッション・ポリシーを通じて本校志望者には本校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想は周知している。保護者に関しては保護者説明会などの機会を通して周知を図っている。「5」は妥当と考える。

⑤ 各科の教育目標については、理容業界には「思いやり」をテーマに介護理容へのニーズを踏まえたカリキュラムを設け、美容業界には生涯教育も踏まえて「おもてなし」を手テーマに日本文化をふまえた和装着付けとヘアセットイングを実施している「5」の評価と考える。

（2）学校運営

校長 / ① ② ③ 目的に沿った学校運営を策定し、「新型コロナウイルス感染症」に関する拡大防止について柔軟に対応しつつ、進級・卒業を最優先の目的において運営した。これは、(1)の教育目標に沿う運営方針として評価したい。②及び③に関しては①の方針に基

づきリーダー会議、理事長の参加する運営者会議にて年度計画として策定し、理事会、評議委員会の承認を得たうえで計画されている。①②については寄付行為やその他の規定に沿って行われており、いずれも「5」としたい。

島田 / ③ 運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化されているが、文科省・私学に関する法令の改正に対応するため新法に併せて整備中であるため「4」とした。

④ 人事や給与については就業規則や給与規定を整備し、又法令に基づき適正に運用されているので「5」としたい。

⑤ 教務・財務等の組織整備については整備されているので「5」としたい。

⑥ 業界や地域社会に対するコンプライアンス体制は整備の見直しを図っている。過渡期にあたるので「4」としたい。

千住 / ⑦ 教育活動の情報公開はホームページを用いて実施している。教育課程編成委員会の議事録、シラバス、就職状況及び校外活動についても順次公開している。これは「5」の評価としたい。⑧の情報システム化については整備中であり「4」としたい。

(3) 教育活動

千住 / ①～⑥に関して、は「5」の評価と考える。また⑧は教育課程編成委員会や学校関係者委員の審議内容等を、体系的なカリキュラム編成に活かしているので、「5」の評価としたい。⑦⑨については単位履修規定を設け客観的な指標として GPA を算出するなど明確化をはかっている。⑩に関しても基本カリキュラム中に資格取得に必要な知識や技術を取り入れ、段階的に上位資格の取得が可能な体制をとっている。⑪⑫では業界団体等と連携し、実践的な職業教育を行っている。⑬⑭は状況が前年に比較して改善され研修が実施できたので「5」としたい。

(4) 学修成果

千住 / ①②について、専任の担当と担任との連携が向上し改善されたので「5」とした。但し国家試験については全国平均値を上回るも全員合格には至らなかった。

③の退学率については、低減に取り組んだが大きな改善には至らなかったので「4」が妥当と考える。また卒業生の社会的活躍や評価を把握については、急速に発達している SNS の利用により大きな改善がみられたので④⑤の項目は「5」の評価としたい。

(5) 学生支援

島田 / ①の就職に関する支援体制は、社会科学やサロンワーク授業で学生の職業観が改善した。担当職員を中心にキャリアガイダンスの実施や学生の個別相談も充実しており「5」が妥当と考える。②③④は総務課を中心とした学生生活に関する支援があり、経済的な支援体制として文部科学省の「高等教育の修学支援制度」、厚労省の教育訓練給付金等のサポート体制の他、家計急変に関しては関係各所よりの奨学金を活用して対応したので「5」としたい。但し、⑤の課外活動に対する支援は「新型コロナウイルス感染症」の影響で十分ではなかったので「4」とする。⑥は感染症対策を充実させ、⑦は学校と保護者がインターネット・アプリ、公式 LINE を利用して 24 時間体制で相互に連絡がとれるよう整備した。⑧の卒業生につい

では、キャリア・コンサルティングを卒業後も継続して行い、Webで相談できる体制を実施している。これらは「5」と評価したい。⑨の教育環境は実際のサロンを想定した最新設備を活かして充実を図り、⑩に関しては埼玉県庁の青少年育成事業、近隣中学校の上級学校インターンシップ、県内高等学校進路部主催の進路学習への参加など十分に連携して、キャリア教育と職業教育に貢献しているとして「5」の評価が妥当と考える。

(6) 教育環境

浦野 / ①施設や設備については、教育上の必要性に十分対応できるものを整備するため2022年度に「浦和新校舎」へ移転を完了した。これにより充実した教育環境が達成されたので「5」としたい。

② 学内実習設備はもちろん、期間短縮とはいえ学外の実務実習も実施できたため「5」、③の防災体制については、毎年度防災訓練を実施し、災害時の対応や避難訓練を行っているが、災害時用の備蓄も計画的に進める過渡期にあたるため「4」としたい。今後は防災に対する体制を整備していきたい。

(7) 学生の受入れ募集

千住 / ①、②の学生募集活動は、適正に行われており関係諸機関との申し合わせに則って実施している。高校訪問が緊急事態宣言等の影響で最低限度とはなったが、高校でのガイダンス、保護者向け説明会や個別相談において必要な情報を正確に伝えているので「5」としたい。

浦野 / ③の学生納付金については、通常徴収する学費等の全額を公表し、その金額は本校の教育内容に鑑みて「5」が妥当である。

(8) 財務

浦野 / 2022年度は定員を充足し、4月に浦和校舎移転を完了した。①～④は月次毎に会計事務所の精査を受け、年1回の会計監査も監事により適正に執行されている。また財務情報については、学費の見直しにより適正価格への変更を完了し、長中期にわたる安定した財務基盤づくりを進めているので「5」の評価としたい。

(9) 法令等の遵守

校長 / ①定款の見直しと現行の専修学校設置基準や理容師養成施設指定規則・美容師養成施設指定規則、その他関係法令等を遵守していることで「5」の評価が妥当である。

島田 / ②の個人情報の保護はネットワーク・セキュリティ強化を図っているが途上であるため「4」としたい。また③の自己評価については、改善の懸案がまだ十分にに対応しているとは言えず「4」としたい。自己評価結果をホームページ上に公開しそれに対する評価と問題点の改善についても公開しているので「5」が改妥当と考える。

(10) 社会貢献・地域貢献

千住 / 2022年度は「新型コロナウイルス感染症」拡大防止対策により、従来の地域貢献は縮小したが、地域の中・高等学校インターンシップ事業への協力依頼を受けて職業訓練教育を実施した。①②は「5」としたいが、③は学校全体としての取り組みは無かったので評価するこ

とはできない。

総 評

校長 / 「新型コロナウイルス感染症」は終息しつつあるが、感染対策の徹底と安全な授業運営を両立することができた。今後は、新校舎の教育環境を有効に利用して一層の教育充実に取り組みたい。

以上